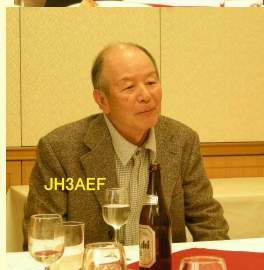


2011 大阪国際交流センター・ラジオクラブ 新年会

2011 大阪国際交流センターラジオクラブ 新年会



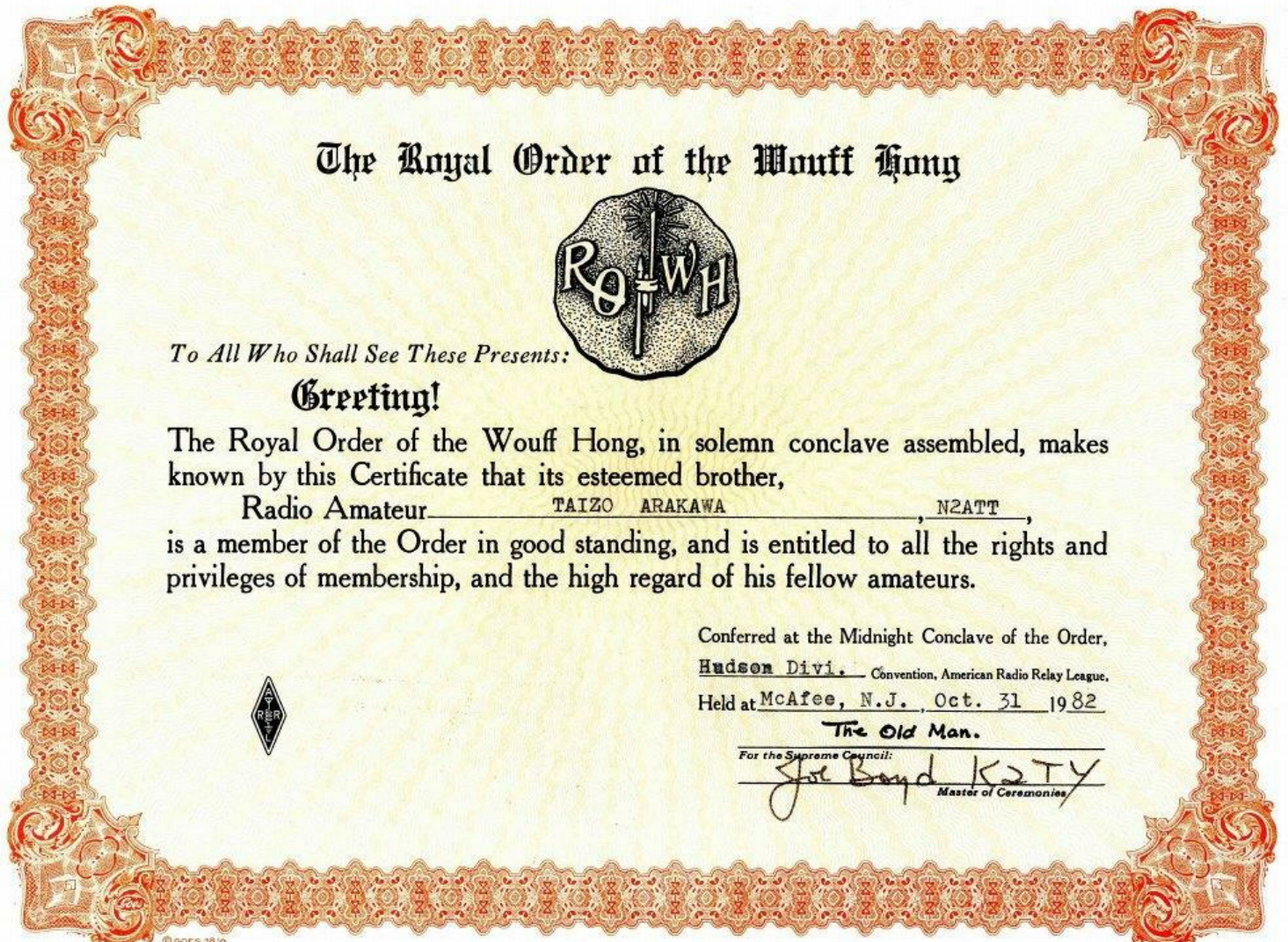
1月14日大阪国際交流センター・ラジオクラブの新年会が開催されました。永田理事長様もご出席いただいて、和やかな時間を過ごしました。
写真提供：JA3VWT, JA3AER

* * * ラジオクラブの新年会でのWouff Hongの話題 * * *

JA3AER 荒川泰蔵

ラジオクラブ恒例の新年会は、大阪国際交流センターの永田理事長を迎えて14名が集まり、歓談しながら夕食を共にしたが、レストランの閉店時間を過ぎても豊富な話題で話が尽きなかった。そんな中でJA3USA島本さんから、アメリカでのコンベンションに参加すると真夜中まで人々が集まって歓談している旨の話が出てきた。私も滞米中よくそのようなミーティングに参加しており、あるコンベンションで真夜中（午前0時）にARRL主催のミーティングに誘われて参加した時にももらったウッフン(Wouff Hong)の会員証を思い出し「ウッフンを知っている？」と尋ねると、「それなに？黄色いさくらんぼ？」と返ってきた。なるほどそうだなと感心したが、席上だれもウッフンを知っている人がいなく、私が説明しかけるとJA3AOP杉山さんが長くなるのを避けるためか「その話、2月号のNLに書いてくれない？」と気を利かせてくれた。

前置きが長くなったが、そんなわけでNLへの投稿を約束したので忘れないうちにと筆をとることにした(いや、キーを叩くことにした)。だが待てよ、このWouff Hongについてはどこかで紹介した記憶があると、新年会の席上JA3AOP杉山さんから頂いたラジオクラブの歴年のNLを収めたCD-Rを繰ってみた(今はやりの電子書籍ではないので、繰ったとは言えずファイルを開いてスクロールしたというべきか)。すると、案の定2007年3月号に「アマチュア無線の賞状あれこれ」で"大阪-サンフランシスコ姉妹都市20周年記念アワード"と共に紹介していた。歳を取ると昔のことは良く覚えていても、最近のことは忘れていているというのはこのことかも知れないと思いつつ、杉山さんはこのことを知っていて私に原稿を頼んだとすると、やはり話を早く終わらせるために気を利かせたのであるから原稿は断るべきかと迷ったが、掲載するかどうかは編集者に任せることにして書き続けることにした。ある雑誌の編集者が「読者も3年経てば忘れていているから、同様な記事でも遠慮なく投稿を」と言っていたことも思い出した。



1982年に入手したWouff Hongの会員証

とは言うものの、前掲と同じ内容では仕方がないと、Googleで「Wouff Hong」を検索すると、何と1,290件のサイトが出てきた。もちろん英語のサイトばかりだが、下手に間違っ

て説明するより、これらのサイトをご覧ください方がよく、今回は経験した会員証の入手時の様子に絞って紹介させて頂こうと思うが、サイトの一つに出展が明らかな
 「The Wouff-Hong is amateur radio's most sacred symbol and stands for the enforcement of law and order in amateur operation." The Radio Amateur's Handbook, 1930, page 11」とあったので、先ず引用紹介しておく。Wouff Hongと辞書を引いても出てこないが、昔からある拷問の道具であるらしい。これを見ながらルールを守ってアマチュア無線を運用しようとしたのか、アメリカのOTのシャックの写真にはこの模型が置かれていたのを何度か見た覚えがある。

手元にある会員証の発行日付を見ると1982年10月31日とあるから、28年以上も前のことになる。またそれにはご丁寧に「Hudson Divi. Convention, ARRL, Held at McAfee, N. J.」とコンベンション名とその開催地まで書いてくれているので思い出しやすかった。私がアメリカに赴任したのは1978年だったので4年目に、多分N2ATF小林さんに誘われて参加したコンベンションであった。1泊2日のコンベンション（支部大会）であったと思う。深夜が近づくとプログラムには記載されていない秘密の儀式が開かれると、ホテル内の薄暗い会場に誘われて出かけた。薄暗くしつらえた不気味な部屋には既に数十人が集まっていた。アマチュア無線の歴史や守るべきルールを聞かされた記憶があるが、午前0時になるとルールを守る誓いをたて、会員同士がする特別な握手と呪文を教わった。これは他言無用とのことであつたので、ここでは明らかにできないが、なんだか秘密結社のメンバーになったような気分であつた。

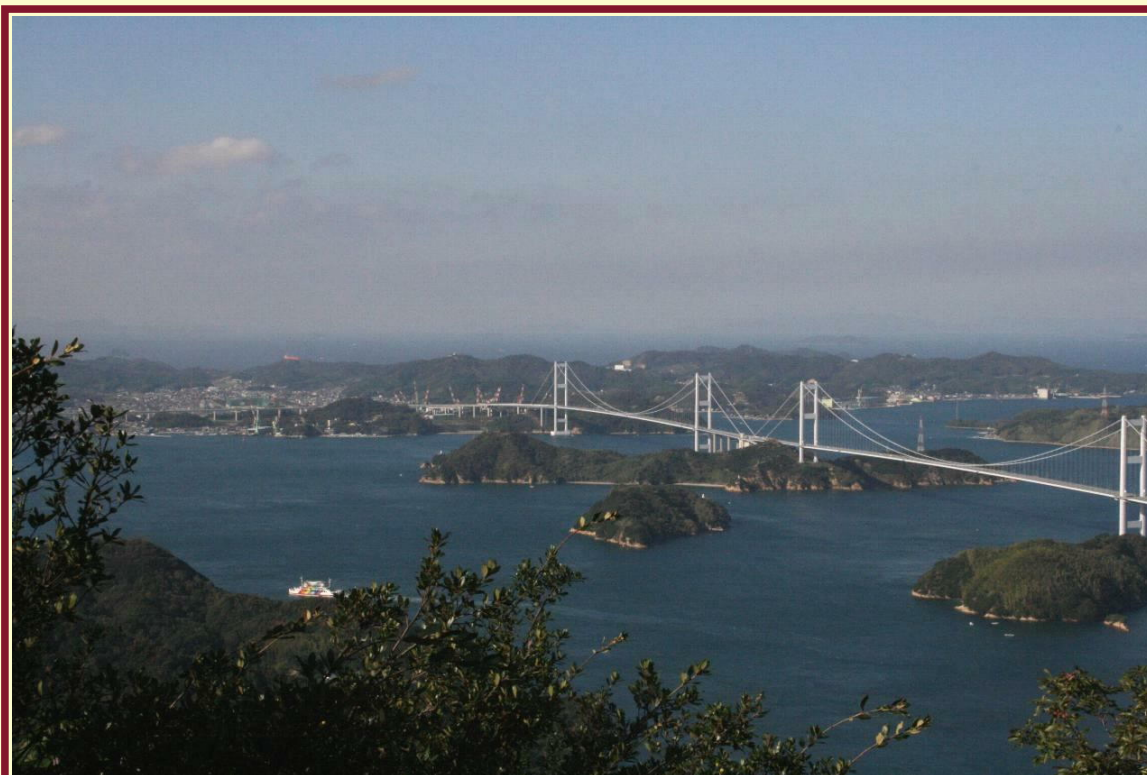
アメリカのアマチュア無線界に経験の深いJA3USA島本さんがご存じでないくらいなので、現在でも継続しているのか、どのようなコンベンションでそのような儀式が行われているのか定かではないが、アメリカで真夜中に行われるARRL主催の会合があれば、眠い目をこすってでも迷わず参加してみてください。



拷問の道具と言われる十手に似た形のWouff Hong



アマチュア無線のシャックに置かれたWouff Hongの模型（ウェブサイトから）



私の写真帖から

朝日を受けて輝く
来島海峡大橋

photo by JA3AOP

皆さん写真をお寄せ下さい
テーマは自由です

2011/01/30 於：尼崎ARIC

JA3AOP/杉山 暁

関西 ハム シンポジウム

1月30日、関西ハムシンポジウムが開催されました



抽籤会で清酒を当てた北井さん



大阪国際交流センター・ラジオクラブ

JI3ZAG